

令和6年度 栃木県立大田原高等学校陸上競技部の活動方針等		
目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己管理能力、運動有能感の向上、自己肯定感、克己心の育成を図り文武両道を目指す。 ○各種大会参加種目において、自己記録更新をひとつの目標とし、自己の可能性に挑戦し続けられる競技者を目指す。 ○栃木県高校総体、高校駅伝競走大会での上位入賞、さらには関東・全国大会への出場を目指す。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全確保を重視した活動に努める。 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習や活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。	
活動日	○原則として、毎週火曜日から日曜日を活動日とする。 ○原則として、土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 ○自主練習等で通常の活動日以外の活動をする場合でも、適切な休養日を設定する。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○6日（土）第1回栃木陸上競技協会記録会（宇都宮） ○13日（金）～14日（日）第69回栃木県陸上競技春季大会（宇都宮） ○28日（日）第2回栃木陸上競技協会記録会（宇都宮）	
5月	○10日（金）～13日（月）第65回栃木県高等学校総合体育大会（宇都宮）	
6月	○14日（金）～17日（月）令和6年度関東高等学校陸上競技大会（東京） ○28日（日）第3回栃木陸上競技協会記録会（宇都宮）	
7月	○5日（金）～7日（日）第95回栃木県陸上競技選手権大会（宇都宮） ○13日（土）～14日（日）国民スポーツ大会陸上競技栃木県予選会（宇都宮） ○28日（日）～8月1日（木）令和6年度全国高等学校総合体育大会（福岡）	
8月	○23日（金）～25日（日）第97回関東陸上競技選手権大会（千葉）	
9月	○13日（土）～14日（日）第64回栃木県高等学校陸上競技新人大会（宇都宮）	
10月	○11日（金）～15日（火）第77回国民体育大会（宇都宮） ○18日（金）～20日（日）第18回U16U18陸上競技大会（三重） ○19日（土）～20日（日）第28回関東高等学校選抜新人陸上競技大会（宇都宮）	
11月	○3日（日）男子第77回・女子第39回栃木県高等学校駅伝競走大会（佐野） ○18日（金）～19日（土）男子第77回・女子第33回関東高等学校駅伝競走大会（群馬）	
12月	○21日（土）～22日（日）男子第75回・女子第36回全国高等学校駅伝競走大会（京都）	
1月		
2月		
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校水泳部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、勝利のみを追求することなく、以下の目標を掲げる。 ○活動をととして心身を鍛え、主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○高校総体栃木県予選での上位入賞、さらに関東、全国大会への出場を目指す。 ○部員全員の文武両道を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うよう促す。 ○原則、生徒の自主練が主体。（主にスイミングクラブでの練習）。 ○夏季休業期間を中心に学校のプールが使える期間においては、週に数日全体練習を行う。 ○更衣室での着替えは速やかに行い、消毒を徹底する。	
休養日	○原則として、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。各個人によって練習環境が違うので、一概に休養日を決められないが、できるだけ、週末（土曜日及び日曜日）の少なくとも1日を休養日とするよう促す。週末に、大会参加等で休養日が確保できない場合は、休養日を他の日に振り替える。ただし、中学生より心身が発達している生徒が、本校の部活動での活動を自ら選択し、入学者選抜を経て入学してきたことを踏まえ、本校の実情、競技種目、分野、活動目的等に応じて、学校の休養日については週当たり1日とすることもできる。その際も、できるだけ、週末のいずれか一日を休養日とさせる。 ○大会参加等で休養日が確保できない場合は、休養日を他の日に振り替えさせる。 ○長期休業中は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が充分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。	
活動時間	○生徒の健康管理に十分に配慮し、学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○原則として、平日の活動は16時30分から2時間程度、休業日の活動は9時から3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）、年末年始及び校長が指定した日は部活動を行わない。ただし、当該期間において、大会等参加によりやむを得ず活動する場合は、事前に校長に申し出て承認を得る。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月	プール清掃	本校プール
6月	県高校総体水泳競技大会 1日(土)・2日(日) 関東高校水泳競技大会県予選会 16日(日)・17日(月) 学校祭に向けて、ウォーターボーイズの練習	日環アリーナ栃木屋内水泳場 日環アリーナ栃木屋内水泳場 本校プール
7月	学校祭に向けて、ウォーターボーイズの練習 関東高校水泳競技大会 20日(土)～23日(月)	本校プール 山新スイミングアリーナ
8月	学校祭に向けて、ウォーターボーイズの練習 度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 県高校水泳競技新人大会 23日(金) 学校祭一般公開「ウォーターボーイズ」 31日(土)	本校プール SAGAサンライズパーク SAGAアクア 日環アリーナ栃木屋内水泳場 本校プール
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校野球部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、勝利至上にとらわれることなく、以下の目標を掲げる。 ○“人間力の育成”（活動をととして、人間としての道義・礼儀の育成を目指す） ○甲子園大会予選となる大会での優勝を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の自主性を重んじるとともに、主体的行動力・判断力を促し、それらを尊重する。 ○怪我・故障者との綿密な話し合いにより、復帰時期を検討し計画的にリハビリテーションメニューを作成する。 ○熱中症予防対策として、熱中症計を活用した活動のリスクマネジメントを構築する。	
休養日	○原則として、毎週月曜日を休養日とする。 ○大会参加等で月曜日の休養日が確保できなかった場合は、翌火曜日を休養日とする。 ○長期休業中は、四勤一休を基本とし学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。 ○休業日は、シーズン中は練習試合が多いことから1日の活動となるが、学習時間の確保は配慮し計画する。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○4/6(土)～5/4(木) 春季高等学校野球大会	練習試合
5月		練習試合
6月		練習試合
7月	○12(金)～28(日) 全国高等学校野球選手権栃木大会	練習試合
8月	○24(土)・25(日)・31(土) 交流戦	練習試合
9月	○14(土)～10/6(日) 秋季高等学校野球大会	練習試合
10月	○ 1年生大会ブロック予選	練習試合
11月	○ 福島親善試合 ○ 1年生大会県大会	練習試合
12月		
1月		
2月		
3月		練習試合

令和6年度 栃木県立大田原高等学校サッカー部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己管理能力、運動有能感の向上、自己肯定感、克己心の育成を図り文武両道を目指す。 ○チームメイトとの連携や協力の大切さを理解し、チームの可能性を広げられる一員となれる競技者を目指す。 ○栃木県大会での上位入賞、さらには関東・全国大会への出場を目指す。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全確保を重視した活動に努める。 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習や活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。	
活動日	○原則として、毎週5日間を活動日とし、週休2日制とする。 ○原則として、土曜日・日曜日を活動日とした場合は、平日1日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 ○自主練習等で通常の活動日以外の活動をする場合でも、週1日以上は休養日とする。	
活動時間	○1日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とし、休業日の練習は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○20日（土）、23日（火）、27日（土）、29日（月） 令和6年度栃木県高等学校総合体育大会サッカー大会 兼 関東高校サッカー大会県予選会	U-18リーグ戦 3部Bリーグ、4部cリーグ
5月	○3日（金）、5日（日） 令和6年度栃木県高等学校総合体育大会サッカー大会 兼 関東高校サッカー大会県予選会 ○25日（土） 令和6年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技県予選	
6月	○1日（土）2日（日） 令和6年度 全国高等学校総合体育大会サッカー競技県予選会	
7月	○中旬 令和6年度 北部支部サッカー大会	
8月		
9月		
10月	○12日（土）、14日（月）、19日（土）、26（土） 令和6年度全国高校サッカー選手権大会栃木大会栃木大会	
11月	○2日（土）、9日（土）16日（土） 令和6年度全国高校サッカー選手権大会栃木大会栃木大会	
12月		
1月	○12日（日）、18日（土）、25日（土）、26日（日） 令和6年度栃木県高等学校サッカー新人大会	
2月	○1日（土）、2日（日） 令和6年度栃木県高等学校サッカー新人大会	
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校バスケットボール部の活動方針等		
目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をとおして主体的な態度を養うとともに、運動有能感の向上、自己肯定感、克己心の育成を図り文武両道を目指す。 ○各種大会参加において、チームワーク・個人技術の向上を目指し、自己の可能性に挑戦し続けられる競技者を目指す。 ○栃木県高校総体、全国高校総体において県大会ベスト4を目標とする。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全確保を重視した活動に努める。 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習や活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。	
活動日	○原則として、毎週火曜日から日曜日を活動日とする。 ○原則として、土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 ○自主練習等で通常の活動日以外の活動をする場合でも、週1日以上は休養日とする。	
活動時間	○一日の活動時間は平日は1時間30分～2時間程度として、19時には完全下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月	栃木県高校総合バスケットボール大会（宇都宮など）	
6月	全国高校総体バスケットボール大会県予選（宇都宮など）	
7月	高体連北部支部総体バスケットボール大会	
8月		
9月	リーグ戦	
10月		
11月	全国高校バスケットボール選手権大会県予選会 北部支部新人バスケットボール大会	
12月		
1月	県高校バスケットボール新人大会	
2月		
3月	地区対抗強化大会	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校バレーボール部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、勝利のみを追求することなく、以下の目標掲げる。 ○高校からバレーボールを始める部員がほとんどである中、対外試合に挑んだり、卒業後もバレーボールを継続したりできる基礎的基本的な技術や知識を確実に身に付け、ひいては、将来の地域でのリーダーを育成する。 ○県北大大会での優勝、県大会でのベスト8を目指す。 ○活動をととして心身を鍛え、主体的な態度を養うとともに、自己管理能力、自己肯定感、責任感、連帯感の育成を図り、文武両道を目指す。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全管理の徹底に努める。また、生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保するとともに、熱中症対策等として練習前の健康観察を欠かさず実施する。 ○自ら課題を発見し解決に向けて工夫できるような活動となるよう生徒を促し、練習メニューや活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。	
休養日	○原則として、週末の少なくとも1日を休養日とする。 ○大会参加や練習試合等で週末に休養日が確保できない場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中は、別途練習計画を作成し活動を行うが、生徒の健康管理に配慮した適正な休養日を設ける。 ○8/12～8/16、12/29～1/3は休養日とする。	
活動時間	○一日の活動時間は、原則として、平日は2時間程度、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○20・21(土・日) 県北春季大会	○6(土)・14(日)・27(日)・29(月) 練習試合
5月	○5・11・12(日・土・日) 高校総体兼関東大会栃木県予選	○3(金)・11(土)・26(日)練習試合
6月	○8・16・17(土・日・月) インターハイ栃木県予選	○2(日)練習試合
7月	○20(土) 県北審判講習会	○今後、練習試合等を計画
8月	○4・6(日・火) 県北総体	○今後、練習試合等を計画
9月	○16(月) 全国高校選手権大会（春高バレー）一次予選	○今後、練習試合等を計画
10月		○今後、練習試合等を計画
11月	○3・9(日・土) 全国高校選手権大会（春高バレー）最終予選	○今後、練習試合等を計画
12月	○21・22(土・日) 県北新人大会	○今後、練習試合等を計画
1月	○25(土) 県新人大会	○今後、練習試合等を計画
2月	○1・2(土・日) 県新人大会	○今後、練習試合等を計画
3月		○今後、練習試合等を計画

令和6年度 栃木県立大田原高等学校ソフトテニス部の活動方針等

目的・目標	目標を以下のように掲げる。 ○活動を通して主体的な態度を育成し、自己肯定感、自己管理能力の育成を図り文武両道を目指す。 ○普段の練習や練習試合、公式戦等で自分の弱点を洗い出し、弱点を克服するよう練習を改善する。 ○県大会で勝ち上がり、関東・全国大会への出場を目指す。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全確保（熱中症対策等）を重視した活動に努める。 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習メニューや活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。	
活動日	○原則として、毎週月曜日から土曜日を活動日とする。 ○原則として、土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	○一日の活動時間は、原則として平日は2時間程度として、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○6日（土）ハイスクールジャパンカップ2024予選会（宇都宮） ○13日（土）、14日（日）令和6年度栃高体連北部支部春季大会（黒磯） ○19日（金）、28（日）県高校総体兼関東予選（宇都宮、栃木）	
5月	○10日（土）栃木県高校選手権大会（宇都宮）	
6月	○令和6年度関東高等学校ソフトテニス大会 第75回関東高等学校ソフトテニス選手権大会 謙 第65回関東高等学校ソフトテニス団体選手権大会（群馬） ○7日（金）、8日（土）、15（日）全国高校総体栃木県予選（宇都宮） ○23日（火）～24日（水）北部総合体育大会（黒磯）	
7月		
8月	○5日（月）～6日（火）国井杯争奪ソフトテニス大会（黒磯）	
9月	○29日（日）30日（月）県高校新人大会（宇都宮）	
10月	○4日（金）、5日（土）北部新人戦（黒磯）	
11月	○4日（月）近県大会（栃木） ○9日（土）下野杯高校大会（宇都宮）	
12月	○16日（月）県高校選抜大会（宇都宮）	
1月		
2月	○1日（土）県高校シングルス（栃木）	
3月	○15日（土）、16日（日）田村杯（栃木） ○（未定）ルーセントトレーニングキャンプ（未定）	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校卓球部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○文武両道の実現のために卓球とともに学習にも力をいれる。 ○異年齢交流の中で、生徒同士の人間関係の構築を図る。 ○北部支部大会優勝、県大会でベスト8以上を目標とする。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○熱中症予防対策として、熱中症計を活用した活動のリスクマネジメントを構築する。	
休養日	○原則として、毎週日曜日を休養日とする。 ○大会参加等で日曜日の休養日が確保できなかった場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として18時45分には完全下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○19(金)～20(土) 関東予選 北部支部予選(県北体育館、さくら市氏家体育館)	練習試合
5月	○3(金)4(土)6(月) 高校総体兼関東予選 栃木県予選 (TKGいちごアリーナ、県北体育館、宇都宮清原体育館) ○23(木)～24(金) インターハイ予選 北部支部予選(県北体育館)	練習試合
6月	○13(木)14(金)16(日) インターハイ予選 栃木県予選 (県北体育館、宇都宮市体育館) ○30(日) 国体予選 少年の部(県北体育館)	練習試合
7月		練習試合
8月	○審判講習会	練習試合
9月	○23(月) 全日本ジュニアの部 栃木県予選(日環アリーナ栃木)	練習試合
10月		練習試合
11月	○7(木)8(金)9(土)10(日) 県新人戦(県北体育館、日環アリーナ栃木) ○30(土) 東京ジュニア(県北体育館)	練習試合
12月		練習試合
1月	○13(月) 全国選抜県予選会(清原体育館) ○24(金)～25(土) 北部支部新人戦(県北体育館、さくら市氏家体育館)	練習試合
2月		
3月		

栃木県立大田原高等学校弓道部の活動報告

月	報告欄	チェック欄		
4月	県総体および北部総体に向けた練習 28日(金) 県高校総体弓道大会 ※3チーム(9名)出場 予選敗退 Aチーム 9中 Bチーム 6中 Cチーム 11中	休養日	教頭	校長
		1日(土)~2日(日)、9日(日)、13日(木)、15日(土)~16日(日)、23日(日)、29日(土)~30日(日)		
5月	北部総体およびインターハイに向けた練習 昇段審査に向けた練習 6日(土) 北部総体 ※4チーム1個人(計13名)出場 Aチーム 6中 Bチーム 5中 Cチーム 1中 Dチーム 4中 個人 2中 21日(日) 第1回地方審査 8名受審(初段1名、三段5名、参段2名) 初段1名、参段1名合格	休養日	教頭	校長
		3日(祝)~4日(祝)、7日(日)、11日(木)、14日(日)、17日(水)~25日(木)、28日(日)		
6月	インターハイ県予選および関東個人県予選に向けた練習 11日(日) インターハイ県予選(個人) ※13名出場 1次予選通過3名 2次予選敗退 16日(金) インターハイ県予選(団体) ※5人制 1次予選敗退 4中	休養日	教頭	校長
		1日(木)、4日(日)、8日(木)、12日(月)、17日(土)~28日(水)		
7月	関東個人県予選に向けた練習 昇段審査に向けた練習	休養日	教頭	校長
		1日(土)~2日(日)、6日(木)、9日(日)、13日(木)、16日(日)~17日(祝)、20日(木)、23日(日)、27日(木)、29日(土)~31日(月)		
8月	関東個人県予選及び全国選抜予選に向けた練習、昇段審査に向けた練習 4日(金) 鷹の谷弓道大会 ※3チーム(9名)出場 生徒の部15位入賞 9日(水) リーダー講習会 ※2名参加 13日(日) 第2回地方審査 4名受審(三段4名) 三段4名合格 20日(日) 関東弓道日光大会 ※5名出場 21日(月) 関東個人予選 ※3チーム(9名)出場 予選敗退 Aチーム 6中 Bチーム 7中 Cチーム 3中	休養日	教頭	校長
		3日(木)、6日(土)、7日(日)、10日(日)~17日(木)、19日(土)、24日(木)、27日(日)、31日(木)		
9月	全国選抜県予選に向けた練習 24日(日) 高校生弓道講習会 10名参加	休養日	教頭	校長
		1日(金)~4日(月)、7日(木)、9日(土)、10日(日)、14日(木)、17日(日)、18日(祝)、25日(月)~30日(土)		
10月	全国選抜県予選に向けた練習 昇段審査に向けた練習 21日(土) 全国選抜県予選 ※3チーム(9名)出場 Aチーム 5中 Bチーム 8中 Cチーム 5中	休養日	教頭	校長
		1日(土)~5日(木)、8日(日)、9日(祝)、11日(水)、15日(日)、19日(木)、22日(日)、26日(木)、28日(土)、29日(日)		
11月	北部新人、県新人に向けた練習 3日(祝) 地方審査会 12名受審(初段10名、三段1名、参段1名) 初段7名合格 11日(土) 北部新人 ※5チーム1個人(16名)出場 Aチーム 2中 Bチーム 5中 Cチーム 8中 Dチーム 8中 Eチーム 4中 個人 2中	休養日	教頭	校長
		4日(金)、6日(日)、13日(日)、20日(日)、23日(祝)~27日(日)、29日(火)、30日(水)		
12月	県新人大会に向けた練習 9日(土) 中高交流大会 2チーム出場 入賞なし	休養日	教頭	校長
		1日(木)~4日(日)、7日(水)、8日(木)、11日(日)、18日(日)、25日(日)、29日(木)~31日(土)		
1月	県新人大会に向けた練習 昇段審査に向けた練習 21日(日) 県新人大会 ※5チーム1個人(15名)出場(1名欠席) Aチーム 10中 Bチーム 1中 Cチーム 3中 Dチーム 6中 Eチーム 4中 個人 0中	休養日	教頭	校長
		1日(土)~4日(水)、8日(日)、9日(祝)、14日(土)、15日(日)、23日(月)、28日(土)、29日(日)		
2月	弓道選手権大会に向けた練習 昇段審査に向けた練習 11日(祝) 地方審査会 9名受審(初段3名、三段1名、参段5名) 初段2名合格	休養日	教頭	校長
		5日(日)、7日(火)~16日(木)、18日(土)、19日(日)、23日(祝)、26日(日)		
3月	弓道選手権大会に向けた練習 県総体に向けた練習 新年度に新入生を迎える準備 9日(土) 弓道選手権大会 団体4中 1次予選敗退 個人5名 1次予選敗退	休養日	教頭	校長
		1日(水)、5日(日)、8日(水)、12日(日)、13日(月)、19日(日)、21(祝)、26日(日)		
年間を通した反省	事故防止、安全確保のためのルール作りをしながら活動を行うことができた。 責任感や礼儀・マナーを少しずつ身につけることができた。 昇段審査を積極的に受け、技術を向上させることができた。 技術だけでなく、行動面での成長を促したい。		教頭	校長

令和6年度 栃木県立大田原高等学校柔道部の活動方針等

目的・目標	目標を以下のように掲げる。 ○活動を通して主体的な態度を育成し、自己肯定感、自己管理能力の育成を図り文武両道を目指す。 ○普段の練習や練習試合、公式戦等で自分の弱点を洗い出し、弱点を克服するよう練習を改善する。 ○県大会で勝ち上がり、関東・全国大会への出場を目指す。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全確保（熱中症対策等）を重視した活動に努める。 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習メニューや活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。	
活動日	○原則として、毎週月・火・木・金曜日を活動日とする。 ○原則として、土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。	
活動時間	○一日の活動時間は、原則として平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○30日（日）県高校総体柔道競技兼関東高校柔道大会県予選（宇都宮）	
5月	○1日（日）県高校総体柔道競技兼関東高校柔道大会県予選（宇都宮）	
6月	○17日（土）全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選会 個人（宇都宮） ○25日（日）全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選会 団体（宇都宮）	
7月	○7日（金）高等学校北部支部大会柔道大会（大田原）	
8月		
9月	○30日（土）県高校新人兼関東選抜予選会 個人（宇都宮）	
10月		
11月	○18日（土）県高校新人兼関東選抜予選会 団体（宇都宮）	
12月		
1月	○18（木）全国高校選手権栃木県大会個人（宇都宮） ○19（金）全国高校選手権栃木県大会団体（宇都宮）	
2月		
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校相撲部の活動方針等

目的・目標	目標を以下のように掲げる。 ○活動を通して主体的な態度を育成し、自己肯定感、自己管理能力の育成を図り文武両道を目指す。 ○普段の練習や練習試合、公式戦等で自分の弱点を洗い出し、弱点を克服するよう練習を改善する。 ○県大会で勝ち上がり、関東・全国大会への出場を目指す。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全確保（熱中症対策等）を重視した活動に努める。 ○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習メニューや活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。	
活動日	○原則として、毎週月・火・木・金曜日を活動日とする。 ○原則として、土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。	
活動時間	○一日の活動時間は、原則として平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月	13日（土）高等学校総合体育大会相撲競技兼関東高等学校相撲大会県予選会（宇都宮）	
6月	17日（土）全国高等学校総合体育大会相撲競技栃木県予選会（大田原） 10（土）～11日（日）関東高等学校相撲大会（甲府）	
7月		
8月		
9月	○5日（火）県高等学校新人相撲大会（宇都宮）	
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校剣道部の活動方針等		
目的・目標	【ミッション～志・理念～】☆<u>大高一魅力的な部活動へ→県北地区を盛り上げる存在になる</u> ①<u>周囲の人から愛される人間になること</u> ②<u>自立・自律した人間になること</u> 剣道を通して人間的に成長・向上していくことを第1に掲げ、社会に出て活躍でき、遅しく生きていける素地を磨くこと 【ビジョン～具体的な目標～】☆<u>正々堂々立派な剣道を目指す～剛（強く）・正（正しく）・美（美しく）</u> ～理想とする剣道を貫き通し、古豪復活を目指す～ ①<u>インターハイや全国選抜大会出場</u> ②<u>関東大会出場</u>	
学年目標	1年	☆ <u>素敵なオアシス（挨拶・礼儀作法）を实践し、常に先を見据えて、自ら考えて行動する</u> →①周囲から愛される人間になるために、基本となる挨拶・礼儀作法を積極的に実践し、人間的に成長・向上を目指す。 ②限られた時間で最大限の効果を生み出す活動を実現するために、常に先を見据えて、考えながら行動することを目指す。
	2年	☆ <u>剣道部を引っ張っていける存在になる</u> →①インターハイ出場を達成するための原動力になりたい。そのために、試合ではポイントゲッターとなりチームに勢いを与え、普段の活動では、誰よりも稽古に励み人一倍努力する。そして、周囲の人から愛され応援される人間になることを目指す。 ②剣道面・日常生活において、自分の芯をしっかりと持ち、拘りを持ってやり抜くことで、人間的な成長を目指す。
	3年	☆ <u>インターハイ予選優勝を成し遂げるため、凡事徹底・初志貫徹をモットーに拘りを持って活動する</u> →①素敵な挨拶やゴミ拾いの励行、剣道場の清掃、部室の整理整頓、自己管理等、率先して行い剣道面以外で徳を積み、人間的に成長することを目指す。 ②剣道では、弱点を極力出さないようにし、得意で勝負して勝利を掴み取る。そのために、稽古から拘りを持って、徹底的に鍛える。また、一本に魂を込め、お互いに積極的な声かけを行い、チーム全体で質の高い活動を目指す。
活動方針	○生徒の健康面・安全面を第一に考え、活動内容を決定する。 ○【限られた時間で最大限の効果を生み出す活動】をモットーに、常に努力・工夫・研究する。（文武両道の具現化） ○年間（前期・後期）練習計画を作成し、活動する。時期によって何を身につけるべきか明確化し、課題意識を持って活動する。 ○生徒間のミーティングを定期的に行い、志（ミッション&ビジョン）を共有すると同時に、現状把握と課題の分析を行い成長する機会を生み出す。	
休養日	○原則として、日曜日を休養日とする。 ○大会参加の翌日は極力休養日とする。	
活動時間	月曜日：17時～19時 火曜日：17時～19時 水曜日：16時～18時 木曜日：17時～19時 金曜日：17時～19時 土曜日：通常練習（9時～12時）・練習試合・大会・休養日のいずれか ※定期試験1週間前は原則休みとする（大会が近い場合には1時間弱活動する場合もある）	
月	参加予定大会等	その他
4月		21日 真岡高校練習試合
5月	○10・11日（金）（土） 関東予選（栃木県総合運動公園 ユウケイ武道館）	3日～5日 高体連練成会 11日 北部強化練習会
6月	○21・22日（金）（土） インハイ予選 （栃木県総合運動公園 ユウケイ武道館）	1日 宇都宮高校練習試合 29日 北部中高合同練習会
7月	○21（土）北部支部総体 （県北体育館）	20日 瀬の原練成会
8月	○20日・21日（火・水）若潮旗争奪全国高校剣道大会	8日 真岡高校練習試合
9月	20日・21日（土・日）第2回全国選抜高校剣道錬成大会	
10月		
11月	○9（土）北部新人大会 （県北体育館）	
12月		
1月	○25（土）県新人兼選抜予選（栃木県総合運動公園 ユウケイ武道館）	
2月		
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校バドミントン部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、勝利のみを追求することなく、以下の目標を掲げる。 ○活動をとおして心身を鍛え、主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○県北大会での優勝を目指す。 ○高校総体栃木県予選での上位入賞、さらには関東大会への出場を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習メニューや活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○熱中症予防対策として、熱中症計を活用した活動のリスクマネジメントを構築する。	
休養日	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。 ○原則として、週当たり2日以上の休養日を設ける。その際、できるだけ、週末（土曜日及び日曜日）の少なくとも1日を休養日とする。 ○大会参加等で休養日が確保できない場合は、休養日を他の日に振り替える。	
活動時間	○生徒の健康管理に充分に配慮し、学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○原則として、平日の活動は放課後から2時間程度として19時には完全下校とし、休業日の活動は9時から3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）、年末年始及び校長が指定した日は部活動を行わない。 ただし、当該期間において、大会等参加によりやむを得ず活動する場合は、事前に校長に申し出て承認を得る。 ※大会や練習試合等の活動時間とは、移動や休憩等の時間を含まない。	
月	参加予定大会等	その他
4月	北部支部春季大会 4/14（木） 県北体育館（団体・ダブルス） 北部支部春季大会 4/15（金） 県北体育館（ダブルス・シングルス） 県高校総体バドミントン競技 4/28（金） 日環アリーナ栃木（団体）	
5月		
6月	全国高校総体バドミントン競技県予選会 6/8（木）日環アリーナ栃木（団体） 全国高校総体バドミントン競技県予選会 6/12（月）日環アリーナ栃木（ダブルス） 全国高校総体バドミントン競技県予選会 6/13（火）日環アリーナ栃木（シングルス）	
7月		
8月	北部支部総体 8/2（水）・3（木）・4（金） 県北体育館 県学年別大会 8/23（水）日環アリーナ栃木（1・2年シングルス） 県学年別大会 8/25（金）日環アリーナ栃木（1・2年ダブルス） 県学年別大会 8/28（月）日環アリーナ栃木（ダブルスベスト32以上）	
9月		
10月		
11月	県高校新人バドミントン選手権大会 11/10（金）日環アリーナ栃木（団体） 県高校新人バドミントン選手権大会 11/13（月）宇都宮市体育館（団体決勝） 県高校新人バドミントン選手権大会 11/16（木）日環アリーナ栃木（ダブルス） 県高校新人バドミントン選手権大会 11/17（金）日環アリーナ栃木（シングルス）	
12月	北部支部新人大会 12/14（木）・15（金）	
1月		
2月		
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校山岳部の活動方針等

目的・目標	1. 安全登山の遂行とその普及 2. 地域・社会貢献 3. 競技への参加 上記を目標としながら、生徒の主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。また、学力と部活動の両立を果たす。	
活動方針	○活動に際しては生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習メニューや活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○体カトレーニング、基礎知識の習得、山域研究、安全対策等、登山に必要な要素をバランスよく学ぶ。 ○登山は教育委員会や登山計画審査会の許可など所定の手続きを経て、必ず下見を実施してから行う。	
活動日	○原則として月曜～金曜日を練習日とし、大会や山行が必要が生じたときに土曜日活動を行う。 ○大会参加等で休養日が確保できなかった場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。お盆、年末年始は学校に準じ、オフシーズンとする。 ○冬季は基礎トレーニングに励み、雪山の登山はしない。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、遠征を控えている場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○4/27（土） 読図山行	
5月	○5/11（土） 春山山行	
6月	○6/1（土） 那須山行 ○6/8（土）～6/9（日） 夏山山行	
7月	○7/13（土） 塩原山行	
8月	○山行（期日未定） ○学校祭での展示に向けての準備	
9月	○山行（期日未定） ○学校祭での展示等	
10月	○山行（期日未定）	○関東大会
11月		冬季練習に切り替え
12月		
1月		
2月		
3月		通常練習に切り替え

栃木県立大田原高等学校スポーツチャンバラ部の活動報告

月	報告欄	チェック欄		
4月	県選手権大会に向けた練習	休養日 1日(月)～11日(木)、13日(土)、14日(日)、17日(水)～21日(日)、24日(水)～29日(日)	教頭	校長
5月		休養日 1日(水)～6日(月)、8日(水)、9日(木)、11日(土)、12日(日)、14日(火)～23日(木)、25日(土)、26日(日)、29日(水)、30日(木)	教頭	校長
6月		休養日 1日(土)、2日(日)、5日(水)、6日(木)、8日(土)、9日(日)、12日(水)、13日(木)、15日(土)～27日(木)、29日(土)、30日(日)	教頭	校長
7月		休養日	教頭	校長
8月		休養日	教頭	校長
9月		休養日	教頭	校長
10月		休養日	教頭	校長
11月		休養日	教頭	校長
12月		休養日	教頭	校長
1月		休養日	教頭	校長
2月		休養日	教頭	校長
3月		休養日	教頭	校長
年間を通した反省			教頭	校長

令和6年度 栃木県立大田原高等学校スーパーサイエンスクラブ（SSC）の活動方針等		
目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、克己心の育成を目指す。 ○地域課題の解決に向けた専門的な探究活動を実施していくことをひとつの目標とする。 ○各種コンテストへの参加および上位大会への出場を目指す。 ○部員全員の科学的技量の向上を目指す。科学教室等を通して、成果の普及を行っていく。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、探究活動や活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○メリハリのある活動を心がけ、漫然と時間を過ごすことのないよう自覚する。	
活動日	○化学・生物・物理班・・・火曜日と木曜日 天文班・・・火曜日 情報工学班・・・水曜日 数学班・・・月曜日 ○レポートや実験等で通常の活動日以外の活動をする場合でも、週1日以上は休養日とする。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、レポート等の提出期限がある場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月		・サイエンス特別講座
6月		・サイエンス特別講座
7月	・物理チャレンジ（県予選） ・化学グランプリ（県予選） ・生物オリンピック（県予選）	・宇大ip-U講座
8月	・SSH生徒課題研究発表会（全国） ・物理チャレンジ（全国） ・化学グランプリ（全国） ・生物オリンピック（全国）	
9月	・日本学生科学賞	・学校祭発表
10月	・科学の甲子園（県予選:筆記・実技） ・宇宙エレベータロボット競技会	・校外研修（福島県飯館村）
11月	・とちぎの高校生課題研究発表会	
12月	・他SSH校課題研究発表会	・科学教室 ・研究施設見学会
1月	・栃木県理科学研究展覧会 ・他SSH校課題研究発表会 ・日本数学オリンピック（県予選） ・校内SSH課題研究発表会	
2月		
3月	・他SSH校課題研究発表会	・物理チャレンジプレチャレンジ（物理実験講習会）

栃木県立大田原高等学校合唱部の活動報告

月	報告欄	チェック欄		
4月	○30日(日)大田原女子高校 春のなでしこコンサート 合同合唱(大田原市)では、他校の生徒と交流を持ちながら、混声合唱の楽しさを味わうことができた。那須野が原ハーモニーホールで演奏した。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
5月	○31日(水)インドネシア高校とのオンライン交流会(大田原女子高 合同演奏)(本校)では、4月のなでしこコンサートで歌った楽曲を歌い、Zoomを通して日本の合唱のよさをインドネシアに向けて演奏することができた。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
6月	○18日(日)栃木県合唱連盟合唱講習会(宇都宮市)では、舞台に乗り切れないほどの大勢の合唱に参加した。普段では味わえないような大人数での合唱を通して、歌うことの楽しさを味わうことができた。 ○3-4小泉謙晶が高校野球栃木県大会の開会式独唱者に選ばれた。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
7月	○31日(日)栗林順子先生講習会(ウイーン少年合唱団指導者)(大田原市)では、楽曲を歌う上での大切なポイントを指摘していただいた。また、母音を発音する際ののどの脱力や、舌の動かし方など、基本的なところについてのご指導もいただいた。 ○3-4小泉謙晶が、高校野球栃木県大会の開会式独唱を務めた。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
8月	○大高祭に向けて練習した。 ○8月25日にはステンドグラス美術館にて演奏した。	休養日 毎週火・金・土・日、8月13~16日	教頭	校長
9月	○1・2日(金・土)大高祭(本校)では、15分程度のステージで歌った。大勢の前で歌うことの喜びを味わうことができた。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
10月	○ステンドグラス美術館クリスマスコンサートにむけての練習を行った。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
11月	○ステンドグラス美術館クリスマスコンサートにむけての練習を行った。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
12月	○24日(日)ステンドグラス美術館クリスマスコンサート(宇都宮市)では、大女・黒磯・黒羽高校と、ステンドグラス美術館合唱団の皆さんとともに、那須室内合唱団の伴奏でメサイアコンサートを行った。オーケストラ・パイプオルガンの伴奏のもとヘンデルの大曲を演奏することで、自分たちの大きな成長につながる機会となった。	休養日 毎週土・日	教頭	校長
1月	○百花繚乱春爛漫コンサート、定期演奏会に向けての練習を実施した。	休養日 毎週火・金・土・日	教頭	校長
2月	○百花繚乱春爛漫コンサート、定期演奏会に向けての練習を実施した。	休養日 毎週土・日	教頭	校長
3月	○百花繚乱春爛漫コンサート(大田原市) ○29日(金)第33回大田原高校合唱部・吹奏楽部定期演奏会(大田原市)では、数年ぶりの合唱部単独ステージを実施することができた。また、合唱部の卒業生とともに、総勢9名で歌うことができた。吹奏楽部との合同ステージでは、30名ほどで歌った。	休養日 毎週土・日	教頭	校長
年間を通した反省	例年よりも多くのステージに参加することができた。また、今年は高校野球栃木県大会開会式にて独唱を努めることができた。さらに、ステンドグラス美術館では大変貴重な機会をいただくことができた。今後も単独演奏をはじめ、合同演奏の場に積極的に参加し、歌うことの楽しさを味わえるような活動を継続していきたい。		教頭	校長

栃木県立大田原高等学校吹奏楽部の活動報告

月	報告欄	チェック欄		
4月	○新入部員12名。 ○部内の係を決める。 ○1年生初心者は基礎、1年生経験者・2年生・3年生はコンクールに向けての練習。	休養日	教頭	校長
5月	○コンクールに向けた個人練、パート練、合奏をおこなう。 ○黒磯高校フレッシュグリーンコンサートに、黒磯高校、黒羽高校、那須拓陽高校、那須清峰高校、黒磯南高校とともに参加した。	休養日	教頭	校長
6月	○コンクールに向けた個人練、パート練、合奏をおこなう。 ○東関東バンドセッション東関東選抜吹奏楽大会に、黒磯高校、黒羽高校、那須拓陽高校、那須清峰高校、黒磯南高校とともに出場し、金賞をいただくことができた。	休養日	教頭	校長
7月	○コンクール直近のため、平日の活動時間を18:30まで延長。日曜日の練習も追加。 ○16日(火)・18日(木)、野球部の選手権県予選の応援に参加。 ○24日(水)、塩那支部スクールバンドフェスタにて演奏。コンクールではないため、賞はないが、審査員による点数評価は、目標達成できず、生徒は自信を失ってしまった。しかし、そこから大会までの残りの日数でどのように練習すべきかを検討し、これまでよりも一丸となって練習に取り組むことができた。 ○22日(○)、那須野が原ハーモニーホールにてホール練習。 ○28日(○)、県吹奏楽コンクールに出場。金賞で同点で東関東大会を逃し、悔しい結果となったが、本番では楽しく演奏することができた。	休養日	教頭	校長
8月	○大高祭にむけて練習。演奏だけでなく、パフォーマンスでもよいものを披露できるように、部員全員で一致団結して取り組んでいた。 ○30日(金)・31日(土)、大高祭にて演奏。準備してきたものをすべて出し切ることができた。アンケートの結果をみても、多くの観客の方に楽しんでいただけたようである。部員一同達成感と充実感があつた様子。 ○3年生は引退。	休養日	教頭	校長
9月	○新部長、新副部長を決定。 ○高文連音楽祭に参加し、ベストパフォーマンス賞を受賞した。 ○12月のなかがわ水遊園クリスマスコンサート、紫塚小学校クリスマスコンサート、3月の定期演奏会に向けて練習した。	休養日	教頭	校長
10月	○12月のなかがわ水遊園クリスマスコンサート、紫塚小学校クリスマスコンサート、3月の定期演奏会に向けて練習した。	休養日	教頭	校長
11月	○12月のなかがわ水遊園クリスマスコンサート、紫塚小学校クリスマスコンサート、3月の定期演奏会に向けて練習した。	休養日	教頭	校長
12月	○12月のなかがわ水遊園クリスマスコンサート、紫塚小学校クリスマスコンサート、3月の定期演奏会に向けて練習した。 ○なかがわ水遊園クリスマスコンサートでは、会場に入りきれないほどの大勢のお客様に会場いただき、好評いただいた。 ○紫塚小学校クリスマスコンサートでは、小学生たちが盛り上がり、とても楽しい演奏会となった。	休養日	教頭	校長
1月	○高等学校音楽祭に参加し、激しいパフォーマンスでお客さんを楽しませる演奏をすることができた。	休養日	教頭	校長
2月	○3月の定期演奏会に向けて練習した。	休養日	教頭	校長
3月	○定期演奏会では、たくさんのお客様にご来場いただき、とても有意義なコンサートとなった。	休養日	教頭	校長
年間を通した反省	例年よりも多くの演奏の場に参加し、生徒たちに人前で演奏することの楽しさを味わわせることができた。これからも、音楽表現する喜びを感じ、仲間を大切にしたい。	教頭	校長	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校美術部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、克己心の育成を図る。 ○部員全員の基礎技能、表現力の向上を目指す。	
活動方針	○活動中の事故防止と安全確保を重視した活動に努める。 ○生徒の主体的な活動を促し、練習や活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。	
活動日	○原則として、毎週月曜日から金曜日を活動日とする。 ○土曜補習の午後、実施する場合もある。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は1時間程度として18：30には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。	
月	参加予定大会等	その他
11月	○実技講習会（宇都宮市）	
12月	○栃木県高校美術展・デザイン展（宇都宮市）	
1月	○実技講習会（宇都宮市）	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校 J R C 部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○人間として、社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する。 ○広く世界の青少年を知り、ともに助け合う精神を養う。 ○校内外のボランティア活動に取り組み、その継続と認知に努める。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○メリハリのある活動を心がけ、漫然と時間を過ごすことのないよう自覚させる。 ○校外の福祉団体等と連携し、校内の福祉意識を高揚させるよう努める。	
活動日	○原則として、月曜日・木曜日を活動日とする。 ○ボランティア活動等で土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	○活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会が近い場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		・通年で、献血や各種ボランティア、校内募金の協力など、その都度吟味しつつ参加
5月		
6月		
7月	○学校献血に協力	
8月	○地域福祉協議会学習会等への参加 ○文化祭にて募金活動	
9月		
10月		
11月		
12月	○歳末助け合い募金活動	
1月		
2月		
3月	○学校献血に協力	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校文芸部の活動方針等		
目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、克己心の育成を目指す。 ○大高祭での作品発表をひとつの目標とする。 ○栃木県文芸部大会での上位入賞、さらには全国総合文化祭への出場を目指す。 ○部員全員の技量の向上を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な活動日を定める。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、創作活動や活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○メリハリのある活動を心がけ、漫然と時間を過ごすことのないよう自覚する。	
活動日	○原則として、毎週水曜日と土曜補習のある日の午後を活動日とする。 ○長期休業中は、大高祭等行事に即した準備を適切に行う。 ○自主制作等で通常の活動日以外の活動をする場合、課題等の提出は怠らないように指導する。	
活動時間	○1日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○1年生の入部者0名。現在2年生1名・3年生1名で元気に活動中。 ○部誌「俺出夢」新入生歓迎号発行。 ○大高祭に向け、各自の作品計画を模索。 ○8月に行われる第45回全国高等学校総合文化祭、散文部門出場に向け、作品を推敲。出場生徒 2年大金飛翔	
5月	○各自作品作成。 ○関東大会に向けて短歌創作。関東大会千葉大会に出品。	
6月	○各自作品作成。進捗状況交換及び合評会。	
7月	○第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会（8／1（日）～5（木））2年大金飛翔 散文部門（令和2年度栃木県高等学校文化連盟文芸部大会 大賞受賞） 文芸部誌「俺出夢」発行に向けての執筆 校正	
8月	文芸部誌「俺出夢」発行に向けての執筆 校正 製本	
9月	大高祭 部誌『俺出夢』製作・販売 3年生引退 栃木県高等学校文化連盟文芸部大会応募に向けて作品執筆	
10月	○令和3年度栃木県高等学校文化連盟文芸部大会参加	
11月	○各自執筆・創作を継続 ○随時合評会	
12月	同上	
1月	同上	
2月	同上	
3月	○秋から冬の活動を踏まえ、新入生歓迎号作成	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校囲碁・将棋部の活動方針及び年間活動計画等		
目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、克己心の育成を目指す。 ○大会での上位入賞、さらには関東大会・全国大会への出場を目指す。 ○部員全員の棋力の向上を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○メリハリのある活動を心がけ、漫然と時間を過ごすことのないよう自覚させる。	
活動日	○原則として、月曜日から金曜日を活動日とする。 ○大会等で土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会が近い場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○22(土)、29(土)～30(日)全国高等学校将棋選手権大会栃木県予選	
5月		
6月		
7月	○8(土)～9(日)全国高等学校将棋竜王戦栃木県予選 ○17(月)「令和5年度将棋をたのしもうおたわら」への参加	
8月		
9月	○9(土)～10(日)関東地区高等学校文化連盟将棋大会栃木県予選	
10月	○28(土)～29(日) 全国高等学校文化連盟将棋新人大会栃木県予選 兼 栃木県高等学校将棋新人大会	
11月	○25(土)栃木県高等学校将棋段位認定大会	
12月		
1月		
2月		
3月	王将戦七番勝負 ボランティアとしてお手伝い	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校写真部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、克己心の育成を図る。 ○写真に関する部員全員の基礎技能、表現力の向上を目指す。 ○写真撮影を通して自然や社会にたいする興味、関心を広げる。	
活動方針	○生徒の主体的な活動を中心に、活動計画を立案し、責任ある行動のもとに部活動を実施する。 ○県総合文化祭写真展を中心に、各種の大会やコンクールに自主的に応募する。 ○生徒技能講習会などに参加して写真撮影技術の向上に努める。	
活動日	○原則として、毎週水曜日を活動日とする。 ○コンクールや学校祭等の前は、必要に応じて活動する。	
活動時間	○活動時間は、1時間程度として18:00には完全下校とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。	
月	参加予定大会等	その他
4月		
5月	○富士フィルム【”PHOTO IS” 想いをつなぐ。あなたが主役の写真展 2024】	
6月		
7月		
8月	○栃高文連 生徒技能講習会	
9月		
10月		
11月	○栃高文連 生徒技能講習会	
12月	○栃木県高等学校総合文化祭写真展	
1月		
2月		
3月		

令和6年度 栃木県立大田原高等学校英語部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標を掲げる。 ○英語ディベートを通して国内外の様々な問題に目を向け、思考力・英語コミュニケーション能力を培う。 ○自分の意見を論理的に表現する力を培う。	
活動方針	○生徒の主体的な活動を促し、活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○メリハリのある活動を心がけ、漫然と時間を過ごすことのないよう自覚させる。	
休養日	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。	
活動時間	○原則として、月曜日から金曜日を活動日とし、1時間半程度を活動時間とする。 ○大会等で土曜日・日曜日を活動日とした場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
月	参加予定大会等	その他
4月	第1回春季英語ディベート合同練習会	
5月	第2回春季英語ディベート合同練習会	
6月	栃木県英語ディベート春季大会（オンライン）	
7月	夏季英語ディベート指導者講習会兼合同練習会（宇都宮高等学校）	
8月		
9月	第1回秋季英語ディベート合同練習会（宇都宮東高校）	
10月	第2回秋季英語ディベート合同練習会（宇都宮高校、オンライン）	
11月	第14回D-1英語ディベート選手権大会兼第17回全国高校生英語ディベート大会栃木県予選	
12月	第1回冬季英語ディベート合同練習会 HEnDA全国大会（栃木県）	
1月	第2回冬季英語ディベート合同練習会 第3回冬季英語ディベート合同練習会 兼 HPDU栃木県大会	
2月	第4回冬季英語ディベート合同練習会	
3月	栃木県英語ディベート冬季大会	

令和6年度 栃木県立大田原高等学校調理部の活動方針等

目的・目標	豊かな人間性の涵養という本校部活動の目的を踏まえ、以下の目標を掲げる。 ○活動をととして主体的な態度を養うとともに、自己肯定感、克己心の育成を目指す。 ○大高祭での研究展示やフードバンクへの協力をひとつの目標とする。 ○各種コンクールに応募し、入賞を目指す。 ○部員全員の技量の向上を目指す。 ○仲間との協働作業をととして人間関係の構築を育成する。	
活動方針	○生徒の健康管理と安全管理を十分に配慮した活動内容を計画する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的な活動を行う。 ○生徒の主体的な活動を促し、創作活動や活動計画立案、行動の自律等において生徒の判断を尊重する。 ○メリハリのある活動を心がける。	
活動日	○原則として、毎週 とする。 ○長季休業中は、別途計画による活動とする。その場合、平日1日または午後のみを活動とする。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として18時には完全下校とし、休業日は3時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、コンクール等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		調理研究
5月		調理研究
6月	スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップへの応募	調理研究
7月	各種コンクール申込書準備	22日(月)～26日(金) 大高祭準備
8月	各種コンクール試作・申込み準備（～9月末日） 大高祭地産地消費菓子販売 食材の回収とフードバンクへの寄付	19日(月)～23日(金)、28(水)～30日(金)大高祭準備 31日(土)
9月	各種コンクール試作・申込み準備（～9月末日）	調理研究
10月	各種コンクール申込書準備	調理研究
11月		調理研究
12月	食材の回収とフードバンクへの寄付	調理研究
1月		調理研究
2月		調理研究
3月		調理研究